

平成19年度 和歌山県文化賞

うしお
潮

たか お
隆 雄

住 所：滋賀県大津市

出 身 地：和歌山県田辺市

生 年：昭和14年

◎業績及び経歴

昭和14年田辺市に生まれ、県立田辺高等学校に学ぶ。京都市立美術大学卒業後、京都精華短期大学、京都精華大学及び広島市立大学などで教授を務めた。

昭和36年第4回日展に初入選、昭和46年には香淳皇后陛下渡欧に際しての綴帯の製作を担当する。

その後、昭和51年の改組第8回日展で特選、昭和55年の第19回日本現代工芸美術展では現代工芸会長賞、平成15年の第35回日展で日展会員賞など、受賞した賞は多数にのぼる。

また、日展をはじめとする国内の展覧会はもとより、海外展にも出品、さらに、個展も多数開催する。特に、平成10年にふるさとの田辺市立美術館において「Tapestry・潮隆雄展」が開催され、平成18年には、高島屋大阪店で世界遺産に登録された「紀伊山地の霊場と参詣道」をテーマにした個展を開催している。

近年は、タピストリー制作の中に、綴織をベースにしつつ、同一面に駆使することが非常に困難な巻織・輪奈織・浮織などを併用して、手仕事ならではの独自の織染美の追及に努めている。

現在、社団法人現代工芸美術家協会参事、現代工芸近畿会会長として、後進の指導にも心血を注ぐなど、日本を代表する染織家の一人として、幅広く活躍している。

■現在

染織家
社団法人日展会員
社団法人現代工芸美術家協会参事
現代工芸美術家協会近畿会会長
財団法人手織振興財団理事
財団法人秀明文化財団評議員
京都美術工芸作家協会会員
広島市立大学名誉教授

■主な表彰歴等

平成2年 滋賀県文化奨励賞
平成5年 秀明文化賞
平成8年 紺綬褒賞
平成18年 滋賀県大津市文化賞